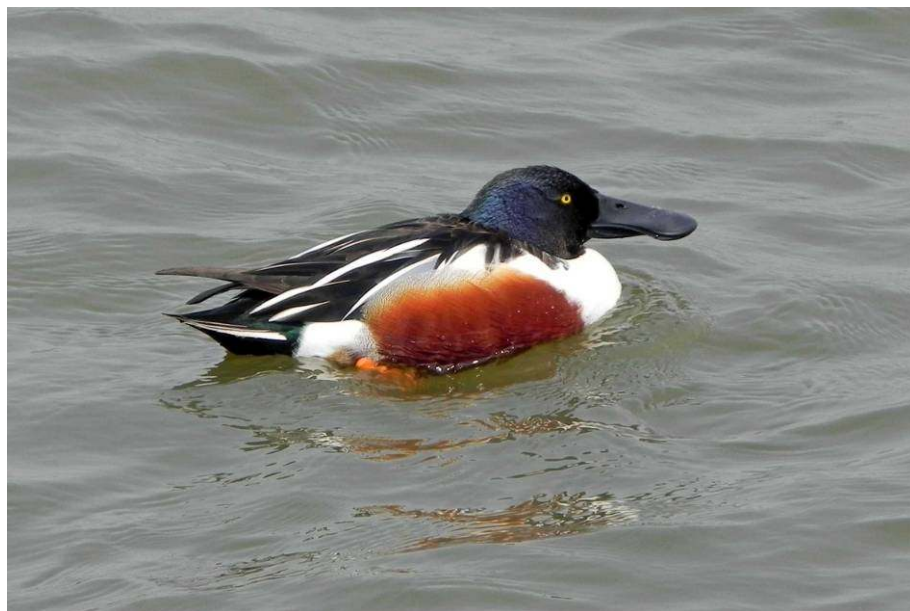


ハ シ ビ ロ ガ モ

Anas clypeata



分類	ガンカモ目 ガンカモ科												
特徴	不釣り合いなほど大きくちばしをした大形の淡水ガモ類。ユーラシア大陸と北米大陸西半の亜寒帯から寒帯で繁殖し、日本には主に冬鳥として渡来する。北海道ではごく少数が繁殖しているらしいが、分布などの詳細は明らかではない。狩猟鳥。												
生活	越冬地では池沼、池、川などで生活し、海上で見られることもある。水面に円を描いて泳ぎながら大きくちばしを水面につけ、ぺちやぺちやついばむようにして採餌する。この時に、幅広い先端部から水を吸い込み、上下のくちばしの合わせ目についているたくさんの薄板で水を濾過し、水中のプランクトンや小さな草の実などの餌になるものだけを食べる。												
声	ほとんど鳴くことはないが、オスは「クワックワッ」という低い声で鳴く。また、メスが「グエーグエツ」と低い濁った声で鳴いたのを、デンマークで8月に聞いたことがある。												
見分け方	オスもメスも、大きくちばしがわかれば見間違う恐れはない。色彩では、オスは緑色の頭部と茶色の横腹、メスはマガモのメスによく似るが、雨覆は灰色で翼鏡は緑光沢。												
時期	(月)	1	2	3	4	—	—	—	—	—	10	11	12
その他	産卵期は 4～6 月 全長(L) ♂51cm ♀44cm 翼開長(W) 72～84cm												

参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥